

東奥日報

2026年(令和8年)5月16日(土曜日) (18)

名物ぎゅっと 壁面一新

八戸 青い森信用金庫(益子政士理事長)は12日、八戸市八日町にある本店の壁面の絵を一新し、除幕式を行った。絵は、同信金が八戸工業大学に参加を依頼して行った「ウォールアートコンテスト」で、グランプリに輝いた2年の安ヶ平雪衣さん(19)の作品。安ヶ平さんは「自分が知っている青森県の魅力を描いた。細かい部分までぜひ見てほしい」と話している。(棟方好華)



安ヶ平さん(右下)が描いた青い森信用金庫本店の壁面の絵

青い森信金本店 安ヶ平さん(八工大2年)がデザイン

コンテストは2020年にデザイン学科の学生から作品続き2回目の開催。「明るい未来の青森」を基本コンセプトに、感性デザイン学部感性入賞10点を選んだ。

壁面の絵は高さ約4・3m、幅約5・5m。安ヶ平さんはスマートフォンアプリを使い、2〜3カ月かけて描

いた。中心には燕島から飛び立つウミネコのほか、ねぶたやこけし、リンゴといった県内各地の名物が集結。南部ひし刺しをイメージした背景には、宮下宗一郎知事や熊谷雄一市長の似顔絵なども描かれている。

12日は除幕式に先立ち表彰式が行われ、入賞した学生6人が出席。益子理事長から表彰を受けた安ヶ平さんは取材に「線の太さや色の濃さを工夫し、迫力が出るようにした。えんぶりに参加する子どもたちの姿なども描いているので見てほしい」と話した。

益子理事長は表彰式で「作品から青森県の良さに改めて気付くことができました。若いクリエイターの皆さんが地域社会とつながるきっかけになってほしい」と語った。

※「この画像は該当ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」